



## 派遣海賊対処行動航空隊(第37次)帰国

1月24日(金)、八戸航空基地において、ソマリア沖・アデン湾で海賊対処の任務に就いていた派遣海賊対処行動航空隊(第37次)の帰国行事を防衛副大臣ご臨席の下、執り行いました。

37次要員は、昨年10月2日に八戸航空基地を出発し、現地での任務飛行を完遂し、隊員や家族らの出迎えのもと、約4か月ぶりに八戸航空基地に降り立ちました。

帰国行事では、まず始めに37次要員の指揮官を務めた米田2佐が防衛副大臣へ帰国報告を行いました。その後、防衛副大臣が訓示を行い、海賊対処の任務を完遂した隊員を称えました。引き続き、自衛艦隊司令官の訓示を第2航空群司令が代読し「隊員諸官が本行動を通じて示した多大な努力と献身に対し、改めて敬意を表するとともに、諸官一人ひとりがなお一層精進することを期待する。」と述べました。

米田2佐は取材に対し、「時には気温が40度を超える過酷な環境の中、全員が役割を果たし無事に任務を終えることができた。隊員を無事に帰すというご家族との約束を守ることができた。」と答え、達成感に満ちた表情を浮かべていました。

派遣期間中、派遣隊員を支えて下さったご家族の皆様、また、温かい声援を送って下さった国民の皆様にご心から感謝いたします。



防衛副大臣の巡閲を受ける儀じょう隊



帰国報告をする米田2佐



37次隊へ第1級賞状の授与



副賞の盾の授与



派遣隊員の家族を労う防衛副大臣



帰国行事終了後、インタビューを受ける米田2佐